

山口県立大学社会福祉学部 社会福祉学会

Newsletter



公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

発行/山口県立大学社会福祉学部社会福祉学会
〒753-0021 山口市桜島6丁目2-1 TEL:083-929-6222 FAX:083-929-6261
E-mail:sw-gakkai@yamaguchi-pu.ac.jp

新キャンパスの様子

2020年秋、社会福祉学部は、新校舎に移転しました。(2021年4月には図書館がOPENしました。) 2022年春には厚生棟がOPEN予定です。

社会福祉学部がある新校舎



演習室



自習室



資料室



図書館内の2階学習スペース



図書館



2022年春には厚生棟がOPEN予定(2022年1月撮影)



第23回総会・ 第21回社会福祉セミナー

開催日：2022年10月1日(土)

対面参加と遠隔参加のハイブリッド方式で開催することが決まりました。(コロナの状況により変更あり) 基調講演と交流会を行う予定です！



社会福祉学会長
内田 充範

社会福祉学会長となって4年目を迎えました。この間、台風襲来、そして、新型コロナウイルス感染症の影響により、総会・社会福祉セミナーを開催できなかったのは、令和元年の1回きりです。この総会・社会福祉セミナーは、20周年記念大会として開催され、今年度限りで退職される加登田学長に基調講演をいただいたことに心から感謝いたします。社会福祉の歴史と新たな潮流とともに学部創設時からの懐かしいエピソードを交えた大変興味深いお話でした。

さて、令和4年度の総会・社会福祉セミナーについては、引き続き新型コロナウイルス感染症への対策を考慮しながら、10月1日(土)に、対面と遠隔のハイブリッド方式で開催する予定です。遠隔での開催ということは、コロナ禍以前には考えられなかった方式ですが、遠方の卒業生の方々には、参加しやすくなるのではと思います。現在、在学生幹事も交えて、どのような内容にするか、2か月に1回のペースで幹事会を開催し検討しています。また、卒業生のみなさんには、アンケート調査を実施するなどして、社会福祉セミナーのテーマや講師の先生の希望をお聞きしていきます。令和4年度こそは、在学生、卒業生、教員が丸くなって、総会・社会福祉セミナーが、開催されますことを心から願っています。



い間ありがとうございました～



加登田学長は、1994年（平成6年）に山口女子大学（現、山口県立大学）社会福祉学部に着任後、27年間にわたり、社会福祉教育や大学運営にお力を尽くされてこられました。

一九九四年四月、山口女子大学に社会福祉学部が開設された。新しく建設されたばかりのD棟は、まだペンキの匂いが漂っていた。最初の「新入生オリエンテーション」は、教員だけではない。学部生全員が県別に一人ひとり自己紹介したように記憶している。宿泊オリエンテーションは、出来たばかりの「ホテル西長門リゾート」に泊まり、学生と一緒に秋の町を散策した。岩田啓靖先生が、「大学生は高校生とは扱いが違うのだということ传达了かった。」とおっしゃった。全国から集められた新着教員には、山口を観光させてあげようという配慮も少しはあったであろう。あれから二十七年、色々なことがあった。翌年の阪神淡路大震災から始まって、県内の大水害、東日本大震災と続いた自然災害時代。教育体制も共学化からPSW課程の設置、漸次カリキュラム改訂と展開した。海外からの客を招聘したフォーラムや講演会、特色GPの活動、ゼミ旅行や実習巡回……。心のページには、その時々の方々の表情や声がぎっしり書き込まれている。

本学部OB・OGは、人に寄り添う姿勢や、陰でもひたむきに頑張る力、そして人の喜びをエネルギーとする力、掛け値なく「福祉的人間力」が優秀である。それは教科書で身につけるのではなく、学生時代の人々との出会いで身につくものだ。教員も青春立会人として、皆さんと一緒に過ごせた時間は、私にとって至福の時間であった。ありがとうございました。



上田千秋初代学部長と一緒に（新入生オリエンテーション）



特色GPの交流会にて（山極寿一先生と菜香亭で輪になって踊っている様子）



「おいでませ山口国体」に向けてバリアフリーのおもてなし講座（企画演習）

最終講義「幾時代かがありまして～福祉・大学、それから私～」



加登田先生へ卒業生メッセージ

- いつも笑顔の加登田先生。本当にお世話になりました。実家のように思う大学がまた寂しくなります。（2期生 弘中昭子）
- いつも笑顔の先生に、時に鋭いご指導を頂き、何事にも怯まず挑戦出来ました。先生と仲間と笑って、悩んで、泣いたゼミの2年間で今でも宝物です！（6期生 岩本いつみ）（旧姓 福永）
- ご退官おめでとうございます。先生の熱心なご指導に、卒業して20年経つ今でも、とても感謝しています。今後のご健康とご活躍お祈りしています。（6期生 水津優子）（旧姓 今井）
- 学生時代、「やってみたらっ！」といつも笑って背中を押してくれたのを覚えています。絶対に否定せず、肯定してくれたことが、今の僕のチャレンジを後押ししてくれているのだと感じます。一つのステージを登り、また、新しいステージに挑戦する先生。これからも、チャレンジする先生の姿に刺激をもらいながら、僕も挑戦を続けます。（6期生 西野貴善）
- 先生のお宅にお邪魔して楽しかった事。最近のことのように思い出されます。本当に楽しい大学生生活でした。これからは、全力で先生ご自身の時間を満喫してください！！（7期生 柴田美枝）
- 福祉を専攻する自信がなかった私に「福祉のことは聞きに来たらいつでも話を聞かれます」と言ってくれたおかげで、視野を広げ、今も福祉に関わり続けることができています。ありがとうございました。（9期生 白井雄生）
- TOIYSを立ち上げる時、加登田先生のゼミ室に相談に行った日を今でも覚えてます。あの日から私の人生が大きく変わりました。先生には顧問として、多くのサポートをしていただきました。心から感謝しております。これからも可憐な先生でいてください。（12期生 榎本浩司）
- 先生がおっしゃっていた「社会福祉の究極の目的は世界平和よ！」というスケールの大きい言葉を今でも時々反芻します。たくさんの教養をありがとうございました。（13期生 浅川恵美）
- ご退官おめでとうございます。在学中はご指導いただき、ありがとうございました。今後のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。（14期生 古富真）
- 樹庵での集中ゼミや韓国旅行、卒業論文どれも楽しい思い出です。卒業論文で取り組んだことはわたしの福祉実践の原点です。またお会いできるのを楽しみにしています。（16期生 田中麻以）



ご退職される先生方へ～長



草平教授は、1994（平成6）年山口県立大学社会福祉学部創設以来、教員として27年間に渡り社会福祉教育に携わりとともに、多くの市町村における地域福祉実践に関わってこられました。

人と人との関係への思い
 今から10年前までは、「学部在籍の学生全員の顔と名前を覚えていた。」と自信いっぱい話していましたが、いつの間にか、学生の名前を覚えるのが難しくなってきました。実習現場という社会に送り出すからには、学生のことをまず知らなくてはと意気込んでいましたが、年齢を重ねると同時に、学内での役割も変わり、そして、何よりも重ねていく齢には勝てなくなっただけの事実です。「老いていく」事実を受け止めなければと思っています。

私は、大学時代に競技ダンスをしていたのですが、自分ではいい踊りをしていても、「いい気分です踊っていいじゃない」「ホール（腕のライン）が崩れている」「フットワークが間違っている」とコーチや先輩からは随分と指摘を受けていました。自分の姿を客観視することは大変難しいことだと感じていました。ソーシャルワークも同じだと思います。自己覚知ということの重要性について、忘れてしまっていることも多々あるのではと時々自分に言い聞かせています。相手の尊敬を大切に。学生や卒業生に対しても同じだと思います。

この間、卒業生のお話しを聞かせていただくと、すばらしい実践をされていることに感動することが多々ありました。いつまでも教える者と教わる者の関係でなく、人と人として関係が大切であると感じています。



2007年地域福祉学会



2008年オープンキャンパス



2015年ボランティア学習学会

～最終講義「地域共生社会創造と地域福祉実践」～



草平先生へ卒業生メッセージ

- 多角的視点を持つ大切さをご指導いただき、ありがとうございました。あれから四半世紀！先生が蒔かれた多くの種が芽生え、根付いていくのをこれからも見守ってください！
 (2期生 植竹奈己) (旧姓 永島)
- ゼミ合宿や卒論指導での学びはとても貴重なものでした。豊北町合宿で見た海と先生の短パン姿が人生を思いっきり楽しんで下さい。
 (3期生 徳光美紀) (旧姓 政木)
- 草平先生、退官おめでとうございます。周防大島での合宿は今でも素敵な思い出です。社協に就職して今年の4月で19年目を迎えます。現在の充実した生活があるのも先生のおかげです。先生の更なるご活躍をお祈りしています。
 (6期生 岡田千代) (旧姓 山本)
- 実習指導で先生と毎回、お会いできるのが楽しみでした。在学中は、ご迷惑ばかりおかけしましたが、今後は教えるむねに頑張っていきます。ありがとうございます。
 (7期生 中島智恵) (旧姓 藤田)
- 御退官おめでとうございます。入学時より地域福祉ゼミに入ると決めていた私が現在も福祉の仕事に携わっているのも、ひとえに草平先生のご指導のおかげと感謝しております。
 (8期生 沖村祥代) (旧姓 森川)
- 私達の結婚式では乾杯のスピーチありがとうございました。誠実青年と自由娘は今もありの頃と変わりました。先生のような仲良し夫婦を目指します！
 (10期生 岡村智和) (旧姓 岡村)
- 草平先生やゼミのみんなと過ごすひと時が、私にとって、ほっとする時間でした。フィールドワークは、これからも忘れることのない貴重な経験です。草平先生、長い間、お疲れ様でした。
 (15期生 久保田早紀) (旧姓 首藤)
- お世話になりました！災害ボランティアセンターにいただいたことはずっと忘れません。
 (16期生 河村千佳子) (旧姓 佐々木)
- 先生の後押しがあったお陰で自分達の思いを東北へ繋ぐことができました。ゼミでは、楽しかったことばかりで、とても良い思い出です。またゼミ生と先生を囲んでお酒を飲みたいです。
 (18期生 廣林優香) (旧姓 藤井)
- 卒業記念品に書いてあった「やさしさと責任感大切に」という言葉が、ものすごく支えになっています。働いていると心が折れそうですが、この言葉を思い出して私なりに頑張ろうと思えます。早く先生に会い出したいです。コロナが落ち着いたら白杵にふぐを食べに来てくださいな！お待ちしています！
 (22期生 姫野朱里)



～中村實枝先生ありがとうございました～



最終講義後に記念品を贈呈し、社会福祉学部教員と記念写真を撮影しました。



中村實枝先生よりいただいたプリザーブドフラワー

約26年間、非常勤講師として「コミュニケーション技法Ⅰ（点字）」の授業や「点字サークルがちぼあん」のサークル立ち上げやサポート等に多大なご尽力をいただいた中村實枝先生の最終講義が令和3年7月28日におこなわれました。中村實枝先生から学んだ視覚障害のある方と共に生きていくための教えは今後も学生たちに受け継がれていきます。長い間、本当にありがとうございました。

柳井義途様・禮子様ご夫妻ありがとうございました

柳井義途様・禮子様ご夫妻は、いつも笑顔で優しく出迎えてくださり、私たちにとっての売店は、とてもアットホームな空間で、温かく、落ち着いて過ごせるみんなの憩いの場所でした。昭和47年から50年もの長い間、本学の学生・教職員を支え続けていただき、本当にありがとうございました。（令和4年2月22日（火）に売店は閉店いたしました。）



事業報告・事業計画について

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため総会が中止となり、令和2年度事業報告と令和3年度事業計画については、学会員の皆様には、略儀ながらこの紙面をもちましてご報告とさせていただきます。

令和2年度事業報告

- 1 学会報告の発行（R3.3.17）
- 2 卒業生の社会福祉士・精神保健福祉士国家資格取得支援
- 3 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、社会福祉学会、社会福祉セミナー、幹事会などの活動を中止した。

令和2年度決算

【収入の部】

繰越金	2,768,027
会費	0
印税	2,539
事業費	13,500
寄付	0
利子	24
計	2,784,090

【支出の部】

事務費	0
役員費	153,421
事業費	59,700
セミナー運営費	0
幹事会費	0
計	213,121

繰越 2,570,969円

※令和2年度の新入生学会費未徴収(次年度徴収予定)

令和3年度事業計画

- 1 第22回社会福祉学会総会（書面議決）
- 2 学会報告の発行（R4.3.16）
- 3 学会員活動助成事業
- 4 社会福祉士・精神保健福祉士実習指導者講習会受講料助成事業
- 5 卒業生の社会福祉士・精神保健福祉士国家資格取得支援

令和3年度予算

【収入の部】

繰越金	2,570,969
会費	1,050,000
印税	4,000
事業費	27,000
寄付	10,000
利子	100
計	3,662,069

【支出の部】

事務費	10,000
役員費	180,000
事業費	277,000
セミナー運営費	0
幹事会費	93,000
計	560,000

幹事会(2021.12.1)



社会福祉セミナーに向けて活動再開しました!

いいねえ～

社会福祉学会のFacebookがあります！
学会の情報や既卒者向けの求人情報などを掲載していますので、ぜひご覧ください。

掲載して欲しい記事がありましたら事務局までご連絡ください。

また、住所を変更された方はお手数ですが学会事務局までご連絡ください。

事務局：083-929-6222



山口県立大学社会福祉学部社会福祉学会

検索